

令和3年3月30日

岩沼市長 菊地 啓夫 殿

岩沼市水道委員会

委員長 高橋 弘 次



岩沼市水道事業経営戦略について（答申）

令和3年2月24日付け岩水第179号で諮問のあったこのことについて、審議の結果、原案は妥当であると結論を得たので、下記の付帯意見を添えて答申します。

記

- 1 安心で安全な水道水を安定的に供給し、水道事業を将来にわたり持続させるため、適切な施設更新を継続するとともに、災害に備えて施設の耐震化を推進することが求められます。
- 2 事業の効率化や広域連携の活用等、幅広い視野に立った事業運営を行うことにより資金調達を行い、なお財源が不足する場合には施設の合理化や水道料金の改定を検討する必要があると考えます。
- 3 特に水道料金の改定は市民生活に大きな影響を与えることから、適正な料金水準の設定にあたっては、料金体系の見直しを含め慎重に検証し、その内容について市民の理解が得られるよう市民に対し十分な説明を行うよう要望します。